

教養講座

主催 | 鶴岡八幡宮 鶴岡文庫

特別講座 槐の会共催 歌のこころ

短歌を学ぶ

第4木曜 (5月より隔月にて開催) 13:30~15:30 歌人 一ノ関 忠人

猿猴庵の日記を読む

—江戸後期の都市生活—

第2木曜 13:30~15:30

國學院大學兼任講師 島田 潔

吾妻鏡の研究

第3木曜 13:30~15:30

元鎌倉女子大学教授 八幡 義信

古事記下巻の天皇

第4水曜 13:30~15:30

文学博士 菅野 雅雄

続・中世鎌倉の藝能

第3火曜 13:30~15:30

鶴岡八幡宮教学研究所有長 加藤 健司

日本のこころ

第2火曜 13:30~15:30 [無料]

鶴岡八幡宮職員

●詳細は鶴岡八幡宮ホームページ「<http://www.hachimangu.or.jp/>」をご覧ください。

鶴岡文庫・東方学院共催講座

東洋思想から共生を考える

第4日曜 13:30~15:30

(5月、11月、1月は第3日曜日)

東方学院長 前田 專學

※毎回講師・講義内容が変わります。

他 講師10名

●詳細は東方学院ホームページ「<http://www.toho.or.jp/>」をご覧ください。

日時 平成27年5月~28年3月まで
各講座毎月1回(全10回)

※「歌のこころ」は隔月開催(全6回)

ところ 鶴岡文庫 [鶴岡八幡宮境内]

受講料 1講座につき 年間10,000円

受付 平成27年4月5日(日)

お問合せ

鶴岡文庫 [月曜日休館]

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-17-20

電話 0467-22-9144

FAX 0467-22-9148

平成 27 年度 鶴岡文庫・東方学院共催講座
「東洋思想から共生を考える」

わたしたちの生きる時代は、人間と自然の調和、多様な価値観を認め合う宗教と文化の尊重、東洋と西洋の文明間の対話など、さまざまな意味で「共生」が提唱されています。なぜでしょうか。そこには、地球環境破壊や経済格差、それに続く宗教対立、思想的抗争が、今や地球全体に浸透し、文明の危機という深刻な状況があるからです。

「一切の生きとし生けるものどもに対しても、無量の（慈しみの）ところを起こすべし。」

中村元博士は、ブッダの慈悲の教えを人間が歩むべき道の基礎に据え、共生的思想の可能性を追求されました。こうしたことから、仏教をはじめとする東洋思想の伝統を、それぞれの専門的立場から今日的視点で捉えなおし、未来社会に向けて共生の道を拓く新たな手がかりを探究するために、このたびの講座を開設しました。

【場 所】 鶴岡文庫（鶴岡八幡宮境内）

【日 程】 原則第 4 日曜日（但し 5 月、11 月、1 月は第 3 日曜日）13：30～15：30

【講 座 内 容】

第 1 回 平成 27 年 5 月 17 日

前田 専學（公益財団法人中村元東方研究所理事長・東方学院長／東京大学名誉教授）

「本講座の趣意説明」

丸井 浩（東方学院講師／東京大学教授）

「多宗教の国インド — 多様性の中の統一 —」

第 2 回 平成 27 年 6 月 28 日 佐久間 留理子（東方学院講師）

「観音信仰にみる共生的思想」

第 3 回 平成 27 年 7 月 26 日 鶴岡 真弓（多摩美術大学教授／芸術人類学研究所所長）

「ケルト文化とユーロ=アジア世界の芸術・信仰にみる「循環と再生」」

第 4 回 平成 27 年 8 月 23 日 若松 英輔（批評家、『三田文学』編集長）

「中村元の仏教平和論」

第 5 回 平成 27 年 9 月 27 日 小松 優香（公益財団法人中村元東方研究所連携研究員／筑波大学准教授）

「石橋湛山の思想から共生を考える — 「一」と「多」を中心に —」

第 6 回 平成 27 年 10 月 25 日 泉 三郎（作家、NPO 法人「米欧亜回覧の会」理事長）

「明治国家創成期における東西文明の相克と共生」

第 7 回 平成 27 年 11 月 15 日 加藤 みち子（東方学院講師）

「熊野古道の信仰と共生思想 — 一枚の曼陀羅図を読み解く —」

第 8 回 平成 28 年 1 月 17 日 佐々木 一憲（東方学院講師）

「大乘仏教における平和の思想と空」

第 9 回 平成 28 年 2 月 28 日 保坂 俊司（東方学院講師／中央大学教授）

「イスラームとの共生 — インド思想の智慧の可能性 —」

第 10 回 平成 28 年 3 月 27 日 釈 悟震（東方学院講師）

「宗教対話による人類の共生を求めて — 宗教激変のスリランカを中心に —」

【外部講師プロフィール】

鶴岡真弓 多摩美術大学教授／芸術人類学研究所所長

ケルト芸術文化およびユーロ＝アジア装飾デザイン交流史研究者。早稲田大学大学院修了後、アイルランド、ダブリン大学留学。処女作『ケルト/装飾的思考』（筑摩書房）で、わが国でのケルト文明・芸術理解の火つけ役となる。西はアイルランドから東はシベリア・日本列島に至る「ユーロ＝アジア文明の生命デザイン」を調査中。主著に『ケルト／装飾的思考』『ケルト美術』（ちくま学芸文庫）、『ジョイスとケルト世界』『京都異国遺産』（平凡社）、『装飾の神話学』『ケルトの歴史（共著）』（河出書房新書）など多数。

若松英輔 批評家／『三田文学』編集長

慶應義塾大学文学部仏文科卒。「越知保夫とその時代—求道の文学」で第14回三田文学新人賞評論部門受賞。著書に『井筒俊彦—叡智の哲学』（慶應義塾大学出版会）、『魂にふれる—大震災と、生きている死者』『池田晶子 不滅の哲学』（トランスビュー）、『内村鑑三をよむ』『岡倉天心「茶の本」を読む』『吉満義彦—詩と天使の形而上学』（岩波書店）など多数。編書に『小林秀雄—越知保夫全作品』『読むと書く—井筒俊彦エッセイ集』（慶應義塾大学出版会）がある。

泉三郎 作家／NPO 法人「米欧亜回覧の会」理事長

一橋大学経済学部卒。事業経営の傍ら1976年から岩倉使節団の足跡を追う旅を始め、約8年で主なルートを訪ね終える。その成果をもとに、数々の著作やスライド映像を制作。96年には「米欧回覧の会」を設立。主な著書に、『堂々たる日本人』（祥伝社）、『明治四年のアンバサドル』（日本経済新聞社）、『「米欧回覧」百二十年の旅』（図書出版社）、『新・米欧回覧の記』（ダイヤモンド社）、『岩倉使節団—誇り高き男たちの物語』（祥伝社黄金文庫）などがある。

【お申し込み方法】

本講座の本来のお申し込みは、4月5日（日）から開始され、講座費10,000円を鶴岡文庫にご持参頂かなければなりません。しかし遠方の方にご配慮致しまして、予め先着20名様に限りましては、共催機関であります（公財）中村元東方研究所にてとりまとめてお申し込み致します。ご希望の方は、3月25日（水）までに下記の手順でお申し込みください。

1. メールでお申し込み申請を行う（返信メールを受信後、2へお進み下さい）

メールアドレス info@toho.or.jp（担当者：総務：釈悟震宛）にタイトルを「鎌倉講座申し込み」とした上で、お申し込み氏名、住所、ご連絡先（連絡のつくお電話番号、メールアドレス等）をご記載ください。

2. お振込を行う

本講座は10回シリーズで参加費は10,000円です。各回の分割申し込みは致しておりません。

メールでのお申し込みのお済みの方は、以下の口座に参加費をお振込下さい。

お振込先は《ゆうちょ銀行》口座番号：00120-2-105515

加入者名：中村元東方研究所 です。

【お問い合わせ先】

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-17-2

公益財団法人 中村元東方研究所・東方学院

TEL 03-3251-4081 mail info@toho.or.jp（担当者：総務：釈悟震、主事：加藤みち子）